

てまいると思ひます。

○助役（篠崎俊夫君） 青少協の地已委員会のことではございますが、現在各町内ごとに地已委員会を青少協の下部組織として持つておられて、その町会の方には役員になつてゐたてゐるわけではございます。それから若干の補助金を市が出してゐるわけですが、ただ具体的な非行少年を民間の方にお願いをいたしたくというわけにはまいませんから指摘のようないろいろな欠点も青少協全体としてあるわけではございますから、教育委員会のほうと相談をいたしまして、先ほど市長が申し上げました青少協全体の運営のあり方の改正というものをできるだけ早くまとめたいと思ひます。

○十九番（大野行夫君） 続けて助役にお伺ひいたしますが、当市で毎月第三水曜日に一家庭団樂の日ということでは「家庭の日」というのを制定したと思ひますが、あの「家庭の日」というキヤッチフレーズはその後どうなつてゐるのか。動きがある

のかないのかPRもしてゐないし、いらないものならなくしたほうがいいと思ひますが……あの時助役はおいふ威勢のいいことを言つておりましたか、そういうものがやはり防犯というものに結びつてゐると思ひうので、いまだに考えを持つておられるかお伺ひいたします。

○助役（篠崎俊夫君） 現在も「家庭の日」は生きてゐるわけではございますが、実際の活動を家庭の日にやつておりませんで申しわけございせんか、それから点もよく教育委員会と青少協の問題と一諸に相談をいたします。

○十九番（大野行夫君） 時間がありませんので……、教育長にお伺ひしますか、いま助役から何回も教育委員会にはかるといふお話がありましたか、この問題を教育委員会としてどうような考えを持つておられるか。

○教育長（町田信二君） 青少年の問題は非常におもしろいことではございまして積極的にやらなければならぬ問題ではございます。家庭の日ににつきまして以前にそういう日が設けられて、それは

そのまま生きていると存じますか、社会情勢が変わりまして商店街のほうにも、休日には親子でレクリエーション的なものをするんだという事で呼びかけていたようでもございましたが、その後社会情勢が変わりまして、商店街の方々に営業を休んでまで協力をいただくということも困難になつております。そういうように情勢が變わつておりますので、それらにつきましても十分研究いたしまして、非行青少年が一人でも減るように教育委員会といたしましても十分検討してまいりたいと思ひます。

○十九番（大野行史君） ます第一点の青少年問題でございますが、相談所出張所は福社会館におき行なうということについては新しい年度においては、こういうことをやっていけるという判断で臨んでいかどうか。それからいま各連絡協議会等のくみからの運営でございますけれども、どうか一つこれについてよく練つて、頭数でふやすのではなくして地域の内容をよく練つてから組織をつくつていけたかと思ひます。

青少年問題についてはその二点を確約できるかどうか答弁願ひます。

二点目の物価問題でございますが、これも先ほど内容については課長から説明がございましたが、この内容で新年度においてこれを実施していけると考えられておられるかどうか再確認という意味で答弁願ひます。

三点目の私道については、砂利敷等については今後一〇〇%の補助で生活必要道路から実施していけるという考え方をどこまで持つておられるか。ただ漠然とおおかしい問題というのではなくして早めに検討してもらいたい。照明灯と防犯灯に ついてはルックスを上げるということを前提として今後私道についても綿密に計画をたてながら進めていけるかどうか。この各三項目についてを最後に答弁として願ひいたします。

○市長（石川常太郎君） 一点目の補導センターの相談所でございますが、四月から早々にできるかどうかはちよつといまのところは申し上げられません。そうおそくなく出張をいただけるものと

考えております。

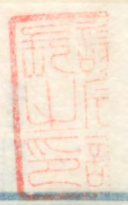
物価の問題につきましてには課長が申し上げましたような点を努
力してまいりたいと思っております。

私道の砂利敷につきましてには砂利敷でございまして、やはり
市の道路と私道という區別がございしますので、当然利用度
の多いものは敷くべきでございましょうけれども、念には念を入
れろでございしますので、一応担当委員会におはかりをしておい
たいと考えております。

(「そうとおり」と呼ぶ者あり)

青少年問題協議会の改組につきまして、他市の状況等
も調査をほとんど完了しておりますので、なるべく早く十二分に
機能が発揮できるようにしたいと考えております。

○十九番(大野行夫君) 大だいまの市長の答弁で大体質問の内
容をつかめましたので、どうかいま市長が言われた答弁を新
しい年のスタートに当たりまして率直に、実行に移して、そう
して先ほどの施政方針にあるような快適な町づくりを、



基本的な問題をまず第一歩から進めていただくということに
とを要望いたしましたして私の一般質問を終わります。

○議長(塩野鉄之助君) このより午後一時まで休憩いたします。

午前十一時五十三分 休憩

午後一時 開議

○議長(塩野鉄之助君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に二番 小林菊三君。

(二番 小林菊三君 登壇)

○二番(小林菊三君) 貴重な時間を私の一般質問にいただきました
てますもって感謝申し上げます。

私の一般質問は多摩川堤防の利用について、自然の林保
護について、基地周辺の環境整備についてを質問事項
といたします。

昭和四十八年四月、市民体育館がオープンされ、利用者数
は年間七万三千四十三名であり、四十九年は二月現在六万

一般質問
(小林菊三)

一般質問
(松山)

議十六
議十七
議十八
議十九
議二十
議二十一
議二十二
議二十三
議二十四
議二十五

虎字
訂正



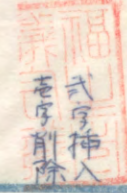
虎字
訂正



虎字
訂正



虎字
訂正



九千四百十名とのことです。市民の体力づくりのため
体育指導員の適材適所の配置と熱心な指導により、その
成果が達成されつつあるようで、利用する市民よりたいへん
よろこばれておるのが現況であります。

さて、三月に入り近郊の野や山は春の気配を見せはじめて
きました。多摩川の堤防には春の日差しに誘われて散歩
を楽しむ家族連れ、若いカップルの姿が見受けられます。
そこで私は、五日市線をはさんで牛浜下より南地までの約千
二百メートルの多摩川堤防を利用した遊歩道、マラソン道
あるいは自転車道等の計画を考えておられるかどうか市長
並びに担当課長に尋ねたい次第でございます。

室内の体力づくりはもとより、すかさず緑がもえる太
陽の下で市民の体力づくりは絶対必要であると同時に、福
社対策にも連なることでもありますので、この点についてを
質問いたします。

第二としてしまして自然林保護についてを質問事項にい



虎字
訂正

たします。戦後三十年押し寄せる宅地化の波には勝てず、
当市の自然林も年々減少をたどっております。明治以来、
わが福生の先輩各位の教々の思い出等も残された随一の
場所、熊川南地より福生永田地までの下の川沿いの
緑豊かな森林であります。私は胴回り三メートル以上
もあるけや木、青々とした真竹林、一昔前まではごみの
捨て場のところもありましたが、市当局の行政
指導等によりその環境も整備されつつあります。最近
はひとまたけ野島もふえ、竹やぶの中からうぐいすの声も聞こえ
てまいっております。この自然林に対し市長並びに担当課
長はどのような方法により自然林保護を考えておら
れるのかお尋ねいたします。

第三に、基地周辺の環境整備の計画についてをお尋
ねいたします。基地集約による諸施設も二三年後に終
了と思ふが、昭和五十年以降の八高線以東に対する
環境整備計画についてをお尋ねいたします。基地集

約が開始されて二年目に入りました。横田基地内には目を見張るような大きな建物が新設されております。一部には五階、七階の家族ハウスも新設されニュータウン出現の感もいたしますが、その恩恵も乏しく基地前商店街は閑古鳥が鳴く状態であります。また八高線沿いの外人ハウス地又は昔の面影もなく荒れ果てて、周辺の街灯も少ないためにうす暗く、野良犬がごみ入れのホリパケツからえさをあさっているのが見受けられております。国道十六号線の路上は昼夜数百台もの大型自動車の通行により波をうったようなでこぼこだらけの実情であります。

さて、去る三月一日付の読売新聞によりますと、三木総理は特定防衛施設として全国の一十三施設、九十四市町を指定し、都下では横田基地が指定され、その関連市町村は福生市、昭島市、立川市、武蔵村山市、瑞穂町、羽村町の四市二町との報道がなされましたが、

特定基地として指定された場合には、防衛からの補助額も何らかの形で増額されるのが当然であります。そういう意味から昭和五十年以降基地周辺の特に八高線沿いの地帯に対しどのような形の環境整備を計画しておられるか市長にお尋ねいたします。また地域住民の関心の高い国道十六号線の拡張の件並びに基地周辺の商工振興の計画に対し担当課長からお答えをいただきたいと思います。

以上、三項目にわたりました私の一般質問といたします。

(市長 石川常太郎君登壇)

○市長 (石川常太郎君) ご質問にお答え申し上げます。

第一番の多摩川の堤防の利用についてでございますが、指摘のとおり私も考えております。柳山公園の接続する堤防が四十八年舗装をいたしましたのもその一環でございまして、四十九年度事業といたしまして五日市線から熊川の南まで八百六十メートルの舗装をいたします。

着工をしてゐるわけでございます。残りが五日市街道から五日市線まででございますが、たゞいまのところでき得れば本年度にいたしたいということでございますが、都の補助金の関係もございしますのでできるだけ運動をしてまいりたいと思ひます。完成によりまして、小林議員さんのお説のような市民のための高度利用をはかつてまいりたいと思ひます。

二番の自然保護の問題でございますが、ご指摘の崖の概要を最初に申し上げますと、福生市の巴域内に山崖が百五筆で三万五千七百平方メートルございます。これに對しまして、市の基本的な考えといたしますと、残り少ない緑地であり、ご指摘のとおり市としての得かたい貴重な財産でございしますので、現状を損うことのないように保存に努めなければならぬと考えてゐる次第でございますが、現在の見通しといたしましては、またるべき本年の六月定例会に「みどりの条例」をご提案申し上げまして、ご審議をいたしたいと思いますというわけでございます。けれども、

この条例の中に、くわら崖のみどり等を保護するような項目を設けたいと考えてございます。よろしくご指導を賜わりたいと存する次第でございます。

次に基地周辺の環境の整備についてでございます。最初に国道十六号の問題から申し上げます。議会の活発なるご指導との協力にもかかりませぬ、遅々として国道十六号線の拡張が進捗いたしませんことは、まことに私といたしましては慙愧にたえず申しわけなく存する次第でございます。最初からの経過をたどりながら現在を申し上げます。市では国道十六号線の交通渋滞を緩和するために、国道十六号線の拡張について内閣官房をはじめ建設省あるいは関東地検総部国道事務所あるいは防衛庁施設庁あるいは米軍に對して再三にわたり要望してまいりました。建設省におきましては昭和四十七年十二月に現在幅員十一メートルの国道十六号線を長さ四、一キロにわたり基地側に十メートル拡張をいたしました。西側に三、二五メートル、東側に

二五メートルの歩道を取り、片側二車線通行にする。拡張計画を策定し、米軍側に拡張の部分の返環を要望いたしました。これに伴って移転の必要な建物は住宅四十棟、工場二棟のほか変電所、宿泊所、娯楽室などとしておりました。この要望は昭和四十八年七月の日米施設特別委員会に提出がされ、昭和四十八年十月、米軍側より返環するにあつた条件が提示されました。この条件は十二番ゲートと交差点——十二番ゲートは税関のところでございます——を立体交差にしてほしいということ、日本側では新しい道路にかかる建物は移転補償することになっているが——基地内でございますが——補償することになっているが、フェンスぎりぎりに接触する建物も移設してほしい等というきわめてきつい条件がある。日本側が考える方と大きな開きがあるということでございます。日米施設特別委員会下部組織である建設部会——これは米軍、防衛施設庁、建設省でございます——ではこうした条件をどのように解決するのかを目下鋭意

検討中であり、夏ごろまでには一定の結論を出すように協議が進められております。ただいまのところ一週間置きに合会をもちておるようでございます。今後の見通しでございますが、米軍側と防衛施設庁と建設省の三者の建設部会でこの夏ごろまでに結論を出します。日米施設特別委員会が合意をいたします。これを受けて日米合同委員会ですさらに合意をし、建設省で予算措置をいたします。工事に着手するという段階がもうございまして、いまの見通しは五十年年度中に工事にかかることはまずおぼつかしいのではないかといい状態でございまして、たいへんにご迷惑をかけておりますが、懸命に話し合いを進めているということはお事実でございます。何とか夏ごろまでには合意に達したいという努力を重ねているようでございます。私といたしましても鋭意促進方を続けて運動してまいると思っております。

環境整備の問題でございますが、実は八高線以東とい

う考之方も非常にむずかしい考之方でございます。承知のように福生の行政的な考之方が国道十六号線と縦の線ではなく、八町会、七町会、原谷戸、牛浜といふような横に編成をされておりますので、その辺の対処のし方が非常にむずかしいわけでございます。八高線以東国道十六号線沿ひの扱いという認識をましますとたいへんにやりにくくなるわけでございまして、そういうようなことでこの開発等については根本的な点から考へて、八高線より以東だけという考之方は商業振興以外にはむずかしいという気がするわけでございまして、少し広い範囲でお考へいただきますと思うわけでございます。

子供の広場から申し上げますと、本年は上に上がりまして第一浄水場がございしますが、その上に児童公園をつくるべく予算を計上させていただきますので、よろしくご審議をいただきますと思つてゐるわけでございます。その他適当な土地がありますれば子供の遊び場等については配慮を

十分にはしたと思つてゐるわけでございます。市民の集会所等につきましてもやはり広い意味から考へますと、当然区画整理に伴ひまして第七町内会の不動産まにございする建物等も適当なエのほうに移さるを得ないというような考之者を持つておりますし、コミュニティー施設といひしても

第六小学校の学区内等はエのほうにつくらざるを得ないというところ、最もあり、なるべく早い時期に市の基本構想あるいは基本計画にある程度の具体策を盛り込ませざるを得ないと思ひますので、いまま少々時間をお借しいただきまして市民の便利なるようにいたしたいと思つてゐるわけでございます。なお商工振興等につきましても、先ほど大野先生の質問にもございしたようにたいへんむずかしい問題でございしますが、担当課といひしますとも十分この問題を取り上げて研究をしてゐる状態



でございますので、担当課長からたいま考えっております
ことについてきましてお話し申し上げたいと思っております
お聞きとりいただきたく思ふ次第でございます
たいへんに行き届かないお答えでございまするけれども、非
常にむずかしい地区でございます。なるべく早く、市民が安心
なされるような対策を立ててまいりたいと思ひます。

○経済課長（森田進君） 自席からお話しをいたしまして、小林議員
さんのご質問のうち第三点目にごさいました基地周辺の商
業振興対策といった問題につきまして、ただいま市長が答弁
さすしたものに補足して答弁いたします。

基地周辺の商店街は、ご案内のように横田商栄会、福
生武蔵野商栄会と二つの商栄会がございまして、現在百
十余の店舗が二の中で営業を営んでおります。ご指摘の
ように非常に不況が深刻な問題となつてきてゐるわけで
ございしますが、その原因といたしましては、ここ二年間にわたり
ます経済事情、たまたま基地に依存してゐる基地利用



というものが過半数を占める商業ということもございまし
て、その中でドル防衛策に端を発したいわゆる自給自足
態勢の確立、それに伴う需要の減少という二つが大きな
要因だろうと考えております。

二小からの考え方でございしますが、この点はすでに昭和
四十五年の商業診断等においても基地に対する依存度
については述べられてゐるわけでございします。今後の対策とい

しましては、外人を対象として営業というものが、非常に
むずかしくなるだろうということも述べられております。二小
はあくまでも商栄会の商業者あるいは商栄会として考え
ていく問題でございしますが、やはり二小からは外人中心の商業か
ら日本人中心の商業に切り替えていかなければならないだ
ろうかと考えております。この問題についても商業診断等
でも専門家の先生もそのようなことを指摘されております。
では二小からの技術的な問題ということになるわけでございま
すが、まず日本人を対象としての商店というような形に切

り替えますならば、業種の再開発の問題が出てくると思
います。それと同時に、組織の強化ということで、この問題につ
いてはほかの商店街にも呼びかけていただいておりますが、いまま
でのような任意団体から脱皮しなければならぬだろうと
いう問題があると思います。それから共同施設の整備、これは
組織強化と相まって必要だと思えます。それからもう一つは
協業化の問題、たとえば広告等においても協会の下に立つて広
告を行なうとか、あるいはいろいろな計理等の事務についても
標準化等を掲げまして合理化をはかつていくというような
こともこれから必要ではないかと考えております。それから問
題については大前提になるのはそこに営業しておる商業者
あるいは商栄会の意識の高揚というものが前提になろうかと
思っています。

なお、これはほかの商店街にもいえるわけですが、なかなか
商店街内部の問題についてはきっかけがないと再開発という
こともむずかしいわけでございます。その点で先ほど、市長が

若干触れておりましたけれども国道十六号線の拡張とい
うようなこともございますので、これを近い将来というふうに
見て、そういうものを契機といたしまして直接の指導機
関でございます商工会と地元と十令協議を重ねまして
善後策を協議していく。なお市といたしましては現在ご
さいます制度資金の活用あるいは共同施設に対する助成
制度というものの十令活用をまずお願いしたい。国におい
ても昨年度中小企業振興法という新しい法律がございまして、
その法律の中でも商店街あるいは商業者の地位の向上と
申しますかそういうようなことで対策があるようござい
ますので十令検討いたしまして将来にわたつての対策も立
てていきたいというふうに考えております。

はなはだ難しくてございますが答弁といたします。

○二番（小林菊三君）市長並に担当課長より親切にいねい
な答弁をいただきまして別に再質問の余地もございま
せんが、持ち時間も余りないので幾つか要望をいたしました。